



Many KATO Exhibition 2008

加藤万也展

ゆ どう じゅう ぼこ
— 湯桶と重箱 —

2008年

7月19日(土)～8月31日(日)

□第1展示室・特別展示室／入場無料

□開館時間／午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

□休館日／7月21日(月)、22日(火)、28日(月)、

8月4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

○主催／刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館

刈谷市美術館

KARIYA CITY ART MUSEUM

〒448-0852

愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地

Tel 0566-23-1636 Fax 0566-26-0511

<http://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

加藤万也展

— 湯桶と重箱 —

加藤万也 (1962年生まれ、愛知県豊田市出身)は、安城市に在住する新進美術家です。

この展覧会、サブタイトルに「湯桶と重箱」とありますが、桶や箱をお見せする伝統工芸展ではありません。ご覧のとおり、現代アートの展覧会です。では、「湯桶と重箱」って何?。

「湯桶と重箱」を読むことができますか。「湯桶」は「ゆ・おけ」?、それとも「ゆ・トウ」? 「重箱」については「ジュウ・ばこ」とあっさり読むことができるでしょうか?

これらのように、2字以上で表されるある語を、「音読み」と「訓読み」を組み合わせて読んでしまう、一般的な読み方とはズレた読み方をすることがあります。湯桶読み、重箱読みというものです。

彼は、日常生活で目にするモノや既製品に手を加えることで常識の中にあるズレを指摘し、あるいは私たちの経験や知識の裏をかくユニークな立体作品などをつくっています。こうした制作スタイルやその作品をひとことで言い表す言葉として、サブタイトルの「湯桶と重箱」があるのです。

この展覧会では、ここ数年間の彼の代表的な作品に新作を合わせた約40点をご紹介します。成立しているけど、どこかヘンなモノたち。それらと出会ったとき、どこかおかしいよね?、どうなっているの?と心を揺さぶられることでしょう。万也ワールド、どうぞお楽しみください。



□会期中の催しもの

○アーティスト・トーク

展覧会の初日に加藤万也さんをお招きして、これまでの制作活動やその作品、今後の展開などについて語っていただきます。

- 日時 / 7月19日(土) 午後3:00~4:00
- 会場 / 美術館1Fロビー
- 聴講無料(申し込み不要)
- 進行 / 担当学芸員

つくる⇄みるプログラム

○アートなお中元

「魔法のバットでメジャーリーガー」「ラブラブソファーマンレース」などなど、展覧会場をご案内しながら実際にいくつかの作品世界を体験していただきます。見て!やって!作って!。万也が贈るアートの詰め合わせ。きみも世の中の見え方が変わるはず!?

- 講師 / 加藤万也
- 日時 / 7月26日(土) 午後1:30~3:30
- 会場 / 美術館展示室、2F研修室
- 対象 / 小学生
- 定員 / 20名
- 参加費 : 300円 (レクリエーション保険代+材料費)

●申し込み方法

「往復はがき」か「FAX」にて、プログラム名(アートなお中元)、参加者氏名(フリガナ)、住所、電話番号、FAX番号、年齢(学校名、学年、保護者氏名)を記入のうえ美術館までお申し込みください。

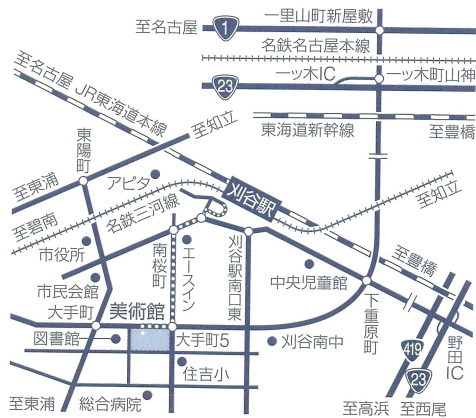
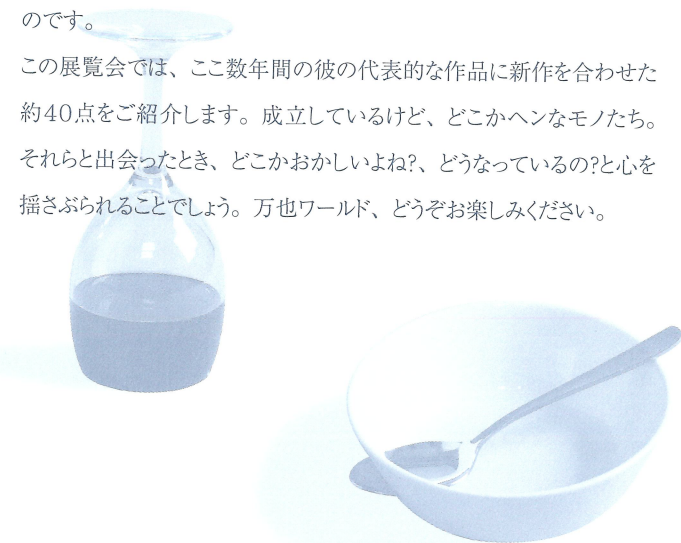
※返信用はがきにも住所と名前を記入してください。

※定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。

●申し込み先

〒448-0852 刈谷市住吉町4丁目5番地 刈谷市美術館
FAX 0566-26-0511

【※締め切り / 7月19日(土) 必着】



【交通のご案内】

- 電 JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩10分
- 車 ※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約15分
- 車 名古屋方面より国道23号線(知立バイパス)
- 車 「一ツ木IC」から約5km ※駐車場あり(無料60台)